

1. 共通項目

NO	学修目標	基礎到達目標	放射線生物学入門	環境科学入門(生物多様性科学)	ヒロシマ復興史	初期被ばく・内部被ばく・疫学演習	放射線計測演習	経営組織論	放射線災害医療学	放射線統合医科学	核エネルギー特論	放射線反応化学	適応行動論	CSR論	持続可能な観光発展論	放射線災害復興学	各主任指導教員が指定する科目	短期フィールドワーク	長期フィールドワーク／長期インターンシップ
1	C1-1	国際力:国際社会でリーダーシップを発揮することができる	外国語を用いて論文を作成できる					○	○					○		○		○	
	C1-2		外国語を用いて討論ができる	○				○	○					○	○	○		○	
	C1-3		外国語を用いて業務を行える	○		○		○						○					○
	C1-4		国際的な集団の中で、目的を達成するために必要な判断・調整ができる	○				○						○					○
2	C2-1	マネジメント力:状況を科学的に捉え、より良い状況に向けて合意形成を導くことができる	人類社会が直面する課題や、集団が抱える問題点を理解できる		○			○						○	○	○		○	○
	C2-2		正確な知識と高い倫理観に基づき、課題について対策を提案することができる					○						○	○	○			○
	C2-3		個や集団のストレスをコントロールし、個や集団が的確な方向へ進めるようにマネジメントできる					○						○				○	○
	C2-4		原爆からの復興を果たした広島大学の経験に基づき、放射線災害復興のために自らが果たすべき役割を明確にし遂行できる		○														
3	C3-1	学際力:専門分化した知識の全体を俯瞰し、必要に応じて活用することができる	専門分野を超えた知識や技術を活用し、独創的な研究を立案・展開できる	○		○		○		○		○		○	○	○			○
	C3-2		放射線災害に伴う多様なリスクを総合的な視点から理解し、的確な対応策を提言できる		○	○				○						○			
	C3-3		放射線生物学の基礎を理解でき、人体への影響を評価できる	○									○						○
	C3-4		放射性物質と放射線の基礎を理解でき、各種放射線測定器を使用し、環境中の放射性物質の動態を評価することができる			○	○												○
	C3-5		放射線災害時における個や集団へのストレスを把握でき、解決方法を提示できる			○							○						○

3. 放射能環境保全コース

NO	学修目標	基礎到達目標	放射線生物学入門	環境科学入門(生物多様性科学)	ヒロシマ復興史	初期被ばく・内部被ばく・疫学演習	放射線計測演習	経営組織論	放射線災害医療学	核エネルギー特論	放射線反応化学	適応行動論	CSR論	持続可能な観光発展論	放射線災害復興学	各主任指導教員が指定する科目	短期フィールドワーク	長期フィールドワーク／長期インターンシップ
4	E4-1	原発事故、核テロ、放射線事故に至る経緯について理解でき、安全管理のポイントが把握できる			○				○	○								
	E4-2	原子炉の原理、構造、核燃料サイクルを理解できる								○								
	E4-3	原子核の構造と安定性、放射線の発生、核分裂反応について理解できる								○	○							
5	E5-1	放射性物質の環境への拡散理論を理解できる					○			○	○							
	E5-2	適切に環境汚染の計測、解析、評価ができる					○			○							○	
	E5-3	放射線計測の核種分析機器の分析方法と計測方法を理解して測定でき、結果を解析し、外部被ばくと内部被ばくの解析と評価ができる				○	○			○								
6	E6-1	放射線物質の大気中、土壌中、海洋中での放射性物質の移行・挙動が理解できる		○			○			○								
	E6-2	大気・土壌・海洋から動物・植物への放射性物質の移行を理解でき、動物・植物中の放射性物質の挙動を理解できる		○			○				○							
	E6-3	食品中の放射性物質汚染について理解でき、食品からの内部被ばくを評価できる					○				○							
7	E7-1	放射性廃棄物の適切な処理について理解できる					○											
	E7-2	適切に放射線の除染及び放射性廃棄物の処理、保管ができる								○								
	E7-3	放射性物質の除染について理解できる					○				○							

